

受益者の皆さまへ

三井住友アセットマネジメント株式会社

弊社の米国株式ファンドの基準価額下落について (5月2日の基準価額の変動要因についてのお知らせ)

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成 28 年 5 月 2 日、以下のファンドの基準価額が前営業日比 5% 以上の下落となりましたので、要因等についてご報告致します。

1. 基準価額が前営業日比 5% 以上下落したファンドの名称とその状況

ファンド名	基準価額(円) (平成28年5月2日)	前営業日比(円) (平成28年4月28日比)	変動率
米国中小型株ファンド・豪ドルコース	8,811	-527	-5.64%
米国中小型株ファンド・米ドルコース	16,754	-1,096	-6.14%
米国小型ハイクオリティファンド(毎月決算型)	8,831	-481	-5.17%
米国小型ハイクオリティファンド(資産成長型)	19,459	-1,065	-5.19%
三井住友・NYダウ・ジョーンズ指数ファンド・豪ドルコース	10,191	-554	-5.16%
三井住友・NYダウ・ジョーンズ指数ファンド・米ドルコース	10,754	-613	-5.39%
三井住友・米国ハイクオリティ株式ファンド(為替ヘッジなし)	8,866	-495	-5.29%

2. 基準価額の変動要因等について

5月2日の基準価額の主たる下落要因は、4月28日と29日における米ドルおよびオーストラリアドルの対円での下落です。また、米国での株価の調整も基準価額の下落の一因となりました。

為替市場では、4月26日～27日に開催されたFOMC(米連邦公開市場委員会)において、金利据え置きが決定されたうえに、米国の景気判断が引き下げられたことから、FRB(米連邦準備制度理事会)は、今後の追加利上げに対しやや慎重な姿勢であるとの解釈が広がっていました。その状況の中で、28日に日銀が金融政策決定会合において、市場の期待をよそに追加金融緩和を見送ったことから、同日の東京市場や29日の海外市場において、円が米ドル等主要通貨に対し大幅に上昇しました。

米国株式市場は、2月中旬以降の上昇により、年初来高値近辺で推移していました。そのため一

■この資料は、三井住友アセットマネジメント株式会社が作成したものです。一般社団法人投資信託協会規則に基づき制定した弊社社内ルールに従い、受益者の方に「ファンドの基準価額に重大な影響を与えた内容の開示」を行う受益者様用資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■投資信託は、値動きのある証券(外国証券には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。■投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■投資信託は、クローズド期間、国内外の休業日の取扱い等により、換金等ができないことがありますのでご注意ください。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に市場環境にかかるデータ・分析、運用・分配金実績、運用方針等が示される場合、それらは当資料作成時点のものであり、将来の市場環境・運用成果等を保証するものではありません。分配金は金額が変わる、または分配金が支払われない場合もあり、将来に關し述べられた運用方針も変更されることがあります。

部企業の決算内容などを受けて一旦利益を確定する動きが強まり、セクター別では、業界を代表する企業の冴えない決算などからヘルスケア、情報テクノロジーが下落しました。

3. 今後の見通し

為替市場では、目先は米ドルなど主要通貨が円に対し上値の重い展開となる見通しです。日銀が追加金融緩和を見送ったこと、FRB が追加利上げに対しやや慎重な姿勢を維持しているとみられることがその背景です。

米国株式については、当面は高値圏での一進一退の展開となると予想します。企業業績は、今年の後半から来年にかけて、米ドル高が企業業績に与える影響が弱まると見込まれることや、原油価格の下落にともなうエネルギーセクターの減益傾向が緩和することから、全体として緩やかな増益に向かうと想定しています。当面は、増益への転換を待つ踊り場局面となり、レンジ内での推移を予想します。

以上

■この資料は、三井住友アセットマネジメント株式会社が作成したものです。一般社団法人投資信託協会規則に基づき制定した弊社社内ルールに従い、受益者の方に「ファンドの基準価額に重大な影響を与えた内容の開示」を行う受益者様用資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■投資信託は、値動きのある証券(外国証券には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。■投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等ができないことがありますのでご注意ください。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に市場環境にかかるデータ・分析、運用・分配金実績、運用方針等が示される場合、それらは当資料作成時点のものであり、将来の市場環境・運用成果等を保証するものではありません。分配金は金額が変わる、または分配金が支払われない場合もあり、将来に關し述べられた運用方針も変更されることがあります。